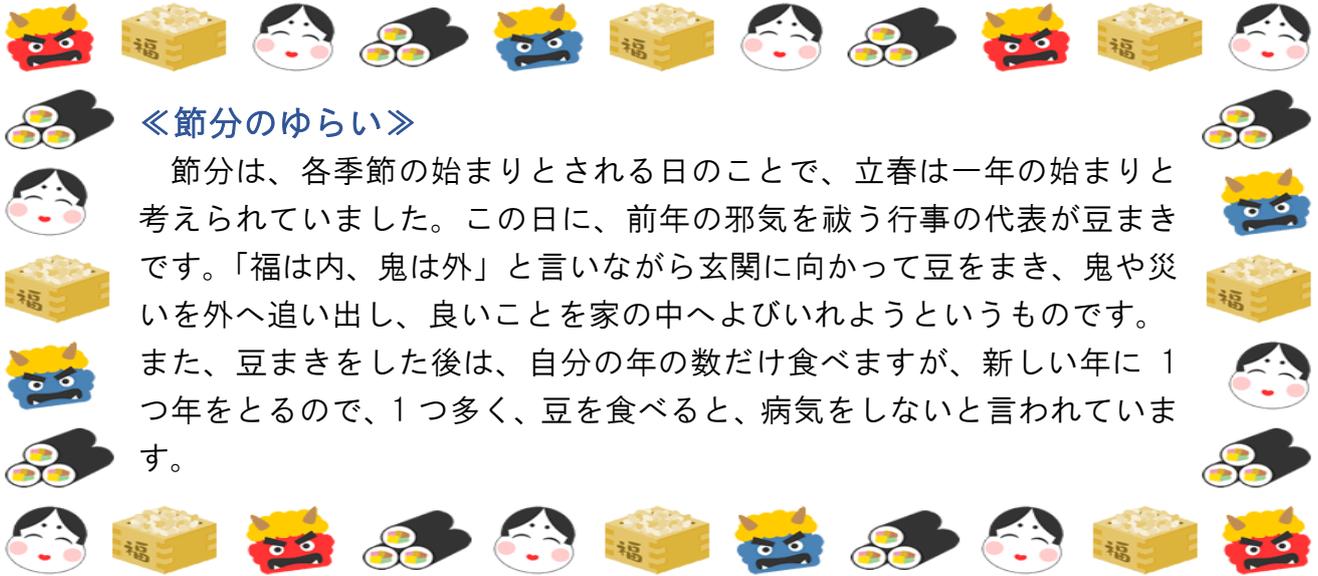




文殊乳児保育園
令和2年2月号



梅の花のつぼみも大きくなり、草や花も春が来るのをじっと待っています。2月と言えば一年の中で、一番寒さの厳しい月ですが、今年は“暖冬”で温度差が大きく、体調も崩しやすくなります。栄養のあるものを食べて、寒さを吹き飛ばして元気に過ごしましょう。



《節分のゆらい》

節分は、各季節の始まりとされる日のことで、立春は一年の始まりと考えられていました。この日に、前年の邪気を祓う行事の代表が豆まきです。「福は内、鬼は外」と言いながら玄関に向かって豆をまき、鬼や災いを外へ追い出し、良いことを家の中へよびいれようというものです。また、豆まきをした後は、自分の年の数だけ食べますが、新しい年に1つ年をとるので、1つ多く、豆を食べると、病気をしないとされています。

※ お弁当の日…6日(ぞう組 雪山体験)
19日

誕生会 メニュー (21日)

- ★ハンバーガー
- ★豆乳スープ
- ★果物
- 《おやつ》
- ★クリームケーキ

味の学習効果 ～子供を野菜好きにするために～

私たちの味覚(舌)は、単に味を感じるだけではなく、体に必要なものと有害なものとをふるいに分けるセンサーの役割も果たしています。野菜の多くは、香りや匂いの強いものが多いので、子どもは抵抗を示します。その野菜も繰り返し食べているうちに、また、家族が美味しそうに食べるところを見せてやることを繰り返すうちに、味覚は警戒感を弱めて慣れていきます。これが、味の学習効果です。子どもたちを野菜好きにするためには、味を学習することが大事だと言われています。

19日(お弁当の日)に、ぞうぐみさんが作ったみそと、畑の野菜を使ってみそ汁を作ります。みそは、卒園する際にプレゼントとしてお渡しします。また、大根も1本ずつ持って帰る予定ですので、ぜひ家庭でも一緒に作られてみてはいかがでしょうか。

今月末に、きりん組さんが、じゃが芋の苗を植えます。収穫は初夏の予定です。

